

バリアフリーまちづくり通信

発行: 東淀川区役所 地域課(企画調整)

令和7年1月号



大阪市東淀川区豊新2丁目1番4号 電話: 06-4809-9927
←東淀川区役所のホームページでは詳細を掲載しています

第53回 まちづくり構想部会を開催しました 令和7年1月11日

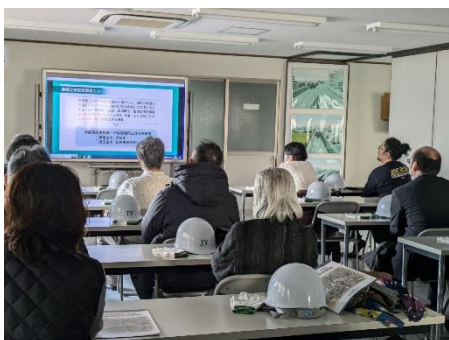
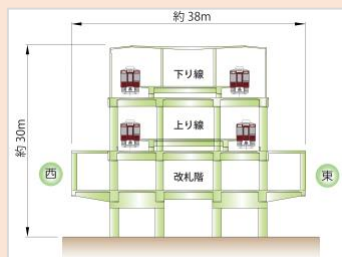
東淀川区西部地域における大阪市の取組や各地域での活動状況などについて、話し合いました。

高架化工事が進む 阪急淡路駅の 現地見学会

- ◆阪急連続立体交差事業(淡路駅周辺)の現場見学会に、まちづくり構想部会の部会員が参加しました。
- ◆工事事務所にて事業の説明を受けた後、現在建設中の淡路駅(コンコース階～ホーム階)や淡路駅の周辺(柴島浄水場側)の高架下空間を視察しました。

参考: 阪急淡路駅の整備イメージ(右図)

【出典: 阪急電鉄京都線・千里線連続立体交差事業パンフレット】



淡路駅エリア のまちづくり について

- ◆下新庄地域では、とにかく高架下に新たな地域のみんなが集える場所(会館)を作りたい。子どもや高齢者などのテーマでワークショップをしても、結局はこの話に行きつく。
- ◆東淡路・柴島地域では、アクションプラン作成のため、これから来年度前半にかけて地域で話し合う場を設けていく予定です。子育て層が住みやすい住宅や子ども達が遊べる公園などが必要だと思っています。
- ◆「淡路駅エリア計画の骨格」について、大阪市計画調整局から、「“多世代が長く住み続けられるまち”というのがキーワードだと認識している。」「いくつかの地域に伺い、お話ししてきたが、柴島浄水場の開発用地については期待が寄せられている一方、周辺地域についてどのように変わっていくのかということに関しては、心配や懸念の方が大きいと感じている。このあたりをどうするか、柴島浄水場の開発と周辺地域との連携など、引き続き考えていきたい。」との回答がありました。
- ◆近畿大学総合社会学部 久教授から、「下新庄駅は密集しているあの地域にオープンスペースができる貴重な機会になる。商業施設や駐輪場だけでなく、地域に役立つものができるといい。」「密集市街地では、子育て世代にふさわしい住宅が供給されないことが、子どもが減っていく要因となっている。例えば、生野区では12あった小学校が4つに統合されてしまった。鉄道や道路整備だけでなく、住宅の建替に繋げるなど、何十年に一度あるかないかの大きな事業が起爆剤となり、周辺地域に波及していくべき。子育て世代にふさわしい住宅をどれだけ供給できるかにかかっている。例えば、門真市では、ららぽーと門真の敷地の一角に魅力的な住宅を建設した。このように、密集市街地整備に影響を与える募集の方法もある。」とのお話がありました。

情報提供 & 意見交換

【お知らせ】 2025年5～6月頃に、高架下空間の利活用事例の視察(阪急洛西口駅～桂駅)を予定しています。